

令和 2 年度特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘・みどりの丘

事業報告書

I. 事業方針

高齢者が増加する一方で、介護サービスを担う人材はその待遇や環境が課題となり確保が難しい状況は今後もつづくことが予想されます。

有効求人倍率では全職業が 1.48 倍に対して介護は 4.16 倍となっています。改善は見込めない中、外国人材（技能実習生）を積極的に導入しながら受け入れ環境の整備、魅力ある働く現場を作ることで介護職の定着を図りました。

I T・ロボットの活用による働き方改革を導入し効率的で質の高いサービスを提供し

「ご利用者様の笑顔と穏やかな暮らし」を守りつづけるように努めました。

II. 事業目標

全事業所において「のびのび 明るく 穏やかな暮らし」の施設理念に基づいた

サービスを提供し地域に愛され、信頼される唯一無二の施設を目指しました。

III. 事業実施計画

(1) 介護老人福祉施設事業

① 唯一無二の施設として

オープンから 10 年間は地域の「選ばれる施設」としての努力を積み重ねてまいり

ました。ここから 20 周年目に向かっては「みどりの丘でなければ」と言っ

て頂ける「オンリーワン」の道を歩んでいけるよう努力を積み重ねていきます。

② アウトカムを意識することで介護のスキルアップに繋げる

前年度より各セクションで「目標」を掲げることに取り組んでまいりましたが

今年度はその目標に向かった結果を意識することで数字面の評価だけではなく

ソフト面の評価を含め介護全体のスキルアップを図りました。

③ 高稼働率の維持

みどりの丘の高稼働率は「選ばれる施設」「質の高いサービスの提供」の証と捉え

ています。地域の高齢者様に安心して頂ける介護施設を目指しました。

④ 目標稼働率

上記の取り組みにより入居稼働率はユニット 96%・従来型 93%、空所利用と合わせ、年間稼働率 98%を目指しました。

(2) 短期入所生活介護事業

前年度同様、ショートステイで待たずして入所するという傾向は継続し、ご利用者様の確保が引き続き困難になることが予想されました。事業所全体での高稼働率の

維持を目的とし、差別化を意識して、他の事業所よりも秀でた特色をもつショートステイを目指した事業展開を進めました。

① IT の活用、ペーパーレス化による営業促進とサービスの改善

・ホームページやフェイスブックを活用した空床情報の発信を行う予定でしたが

居宅のケアマネージャへの周知という面を配慮し F A X が有効でした。

・職員同士の情報共有を効率化することで、ご利用者の方にとってより最適なサービスが行えるよう努めました。

② 施設理念に協調する人材育成

施設理念の方向性に沿った職員の育成を目指し、ご利用される方に安心して過ごしていただけるよう努めました。

③ 目標設定と成果確認のサイクル

ショートステイとして目標の立案だけでなく、達成度を重視しました。成果に対して評価し、新たな課題への取り組みを実践するという正のスパイラルを育むことで、職員のスキル向上とサービスの内容の充実を図りました。

④ 目標稼働率

上記の取り組みにより、リピーター率 6 割、稼働率 125%を目指しました。

(3) 通所介護事業

① 利用者の在宅生活を支える

利用者様が安心して過ごせる「居心地のよい場所」を提供し、利用者様の生活を支えるサービスの提供を目指しました。

② サービス内容の充実

チーム全体で専門的知識や技術の習得に努め、サービスの向上に意欲的に取り組みました。効率よく、質の良いサービスを提供できるよう業務改善を定期的に行い利用者様に「楽しい。またみどりの丘に行きたい。」と思って頂けるように努めました。

③ 営業方針

居宅介護支援事業所との関係を深め、ケアマネージャからの相談や要望に迅速に対応できるようにしました。また、必要に応じみどりの丘のショートステイや特養の入所に繋ぐ、パイプ役となれるように努めました。

④ 上記取り組みの結果、平均稼働率 85%を目指しました。

(4) 居宅介護支援事業所

在宅で生活されている方、困難になった方が笑顔で過ごせるように、事業所内の連携の強化を続けました。

① 居宅介護支援事業所の使命

法人に属している居宅介護支援事業所の使命を念頭に置き、地域で必要とされる事業所として連携を大切にしました。

② 新規利用者確保

地域包括支援センター、行政、医療機関からの信頼関係が新規獲得に繋がります。新規利用者を通所サービス、短期入所サービス、特養に繋ぐ架け橋となるた

め

利用者、家族との信頼関係も必要と考え信頼関係を積み重ねました。

③ 研修等の参加と協力

前年度につづき介護支援専門員更新研修のファシリテーターや介護支援連絡会の

幹事推進メンバーとしての取り組みを行ってきました。公的な研修や会議地域勉強会へ積極的に参加しました。

④ マニュアル

書類作成、訪問時にかかる移動時間など、効率よく行えるようにマニュアルを作りしました。

⑤ 上記の取り組みの結果、稼働率 100%の維持ができました。

IV.介護サービス指針

① 誇りが持てる介護を行う

在宅生活が困難になった方が入居される施設が特養であることを踏まえ根拠に基づいた正しい介護が行えるよう介護技術の向上を図りました。プロの集団としての誇りを持って介護を行えるように努めました。

② 入居者様に笑顔を

施設への入居日は「人生最期のお引越し」と考えています。お住まいは変わりますがここから新たな「家としての暮らし」が始まります。日常の暮らしの中で笑顔になって頂けるような挨拶やていねいな声かけを行いました。残念ながらクラブ、イベント活動はコロナ禍で中止となりました。

③ 感染症予防に努める

「コロナウイルスに負けるなプロジェクト」を立ち上げ施設全体で対策を講じ感染症の専門家を招き研修および感染対策のチェックをお願いしました。感染対応のPCBを作成し不測の事態に備えました。

V.提供するサービス内容

(1) 行事・イベント・クラブは活動内容を変更しました

4月	お花見	施設周辺で実施
5月	みどり杯 棒サッカー大会	中止
6月	開設記念日	フロアー毎に開催
7月	七夕	フロアー毎に開催
9月	敬老会	フロアー毎に開催
10月	みどり杯 棒サッカー大会	中止
11月	秋まつり	フロアー毎に開催
12月	クリスマス会	フロアー毎に開催
1月	お正月	フロアー毎に開催
2月	節分(お相撲さんによる豆まき)	フロアー毎に開催
3月	春カフェ	フロアー毎に開催
イベント	コンサート・舞踊・ダンスなど	中止
外出レク	花見・外食・買い物・動物園の外出	中止
上映会	邦画・洋画の映画を見る会	中止
移動パン屋さん	好きなパンの購入	中止

(2) クラブ活動

趣味や得意分野を生かして頂く活動は新型コロナ予防のため中止となりました

クラブ名	内 容	開催頻度
囲碁クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者には入門教室がある ・囲碁仲間が集まり碁を楽しむ 	中止
昭和歌謡クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・懐かしの昭和の歌謡曲を歌う ・声を出すことでストレスを発散 ・好きな歌を好きなだけ歌える 	中止
書道クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・筆を持って書を書く ・季節に合わせた文字を書く 	中止
音楽クラブ	ピアノ演奏に合わせてなじみの唱歌を歌うことで楽しみにつなげる	中止
美容クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・美容部員の方と一緒に化粧をする ・香りや化粧動作がリハビリにつながる 	中止

手芸クラブ	日本の風習にちなんだ手芸品を作る	中止
シネマクラブ	懐かしの邦画・洋画を見る会	中止

VI.職員研修計画と活動

(1) 定例研修・学習会

職員のスキル向上のための研修および勉強会を行いました

実施月	研修内容	
4月	バイタル測定の基本と、感染症対策について	実施
5月	コロナウイルス感染予防に関する研修（新マニュアル）	実施
6月	高齢者虐待防止（身体拘束）と不適切ケアに関する研修	実施
7月	介護保険制度	実施
8月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	実施
9月	救命救急と緊急時の対応	中止
10月	感染症の予防・蔓延防止に関する研修と事例検討	実施
11月	高齢者の安全な食事に関する研修	実施
12月	褥瘡および看取りに関する研修	実施
1月	認知症に関する研修	実施
2月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	実施
3月	認知症に研修	実施
随時	介護技術などの勉強会	実施

※集合研修ではなくフロア毎

に実施

(2) 会議

良い施設づくりのために話し合いを行いました

会議	出席者	開催頻度	主催
定例会	施設長、事務長、マネージャ、専門職、介護チーフ・リーダー	毎月第1木曜日	毎月実施
給食会議	事務長、施設長、給食業者	毎月第4木曜日	外部業者のため中止
フロア会議	介護マネージャ・チーフ	月1回	毎月実施

	介護リーダー・スタッフ		
ナース会議	看護師、施設長、栄養士	毎日	毎月実施
カンファレンス サービス担当者会議	介護マネージャ、チーフ 介護スタッフ（居担）、 栄養士、看護師、ご家族	随時	随時実施
多職種連携会議	介護、相談員、CM、看 護師、栄養士、機能訓練 士	毎週木曜日	毎月実施

(3) 委員会

意見を出し合い取り組みや改善を目指していきました

委員会	内容	開催日
入退所検討 委員会	① 川崎市の指針に合わせた入居者選び面談を行 う ② 面談シートに基づき入所判定を行う	毎月実施
事故再発防止 委員会	① 発生した事故検討と再発防止の提案 ② 再発防止後の再評価を行う	毎月実施
感染予防委員 会	① 食中毒および感染症防止の検討 ② インフルエンザ、コロナウイルスなど感染症 防止の啓発活動	1回/3ヶ月
身体拘束廃止 委員会	入居者様の尊厳ある生活をして頂くためにも安 易な 身体拘束をしないことを施設全体として取り組 む	毎月実施
褥瘡予防委員 会	① ハイリスク者の把握する取り組み ② 予防のための計画の作成と評価	1回/3ヶ月
防災委員会	① 年2回の避難訓練を実施 ② 安心して働く環境づくり（防犯を含む）	年2回実施

(2) プロジェクトチーム

スタッフ自身が企画運営していくプロジェクト活動を行いました

福祉研究大会 P	令和3年福祉研究大会参加のため	隔月
働き方改革 P	環境を整え働きやすい職場を考える	毎月実施

新規採用 P	新卒採用のため学校訪問など	随時
コロナ負けるな P	新型コロナの研修・予防・発生時の対応策など	必要時開催

《 この一年を振り返り 》

2020年、開設10周年を迎えたこの年は新型コロナウイルスとの戦いに明け暮れた一年になりました

みどりの丘の代名詞だったクラブ、イベントなどの人の集まりはことごとく中止となりました

ご家族様も直接の対面を避けたタブレット面会になり
人と人との交流が完全に断たれた中での生活となりました
では利用者様は暗く悲しい生活を強いられたのか・・・

決してそうではありませんでした

外部や他フロアー、ご家族様との交流はありませんでしたが
いつものメンバーといつものスタッフ

生活を共にするメンバーだけのレクリエーションやイベント
食事が美味しい

売店に行ってお菓子を買いたい

テラスに出て空を見上げよう

日々の暮らしの中に楽しみも喜びもあることがわかりました

今を生きることが

明日へつながり

その先の希望を信じる一年となりました